

1 東日本大震災からの復旧・復興 および放射能対策を推進します

- ☆4月以降の一般食品の新基準値に対応するため、土壌から農産物への放射性物質の吸収抑制対策を推進
- ☆検査機器を増やし、出荷農産物に対する市独自の検査を強化
- ☆本格的除染までの緊急措置として、住宅地のホットスポット除染を実施
- ☆学校給食食材の検査を引き続き実施
- ☆家庭菜園で栽培された自家用野菜の放射能検査体制を引き続き実施
- ☆空間放射線量のモニタリング（測定・監視）を引き続き実施
- ☆生活実態に即した放射線量を把握し、健康不安を軽減するため、引き続き0歳から中学生までを対象にガラスバッジ（放射線個人積算線量計）の貸し出しを実施



☆健全な子育てのため、専門家と連携し、保護者に対して心理面での相談体制を整備

2 子育て・働く女性・お年寄りを 支援します

- ☆子どもの健康増進と保護者の経済的負担軽減を図るため、入院および外来のこども医療費無料化を中学3年生まで拡大
- ☆乳幼児等が放射線の影響や天候等を気にせず、年間を通して安心して遊べるよう、マイタウン白河に屋内遊具施設を整備
- ☆会員相互の助け合いにより、子どもの一時預かりサービス「ファミリーサポートセンター」を支援
- ☆「高齢者サロン・あったかセンター」の設置・運営を引き続き推進
- ☆一人暮らし高齢者を訪問し、安否確認や生活相談を受ける「あったか訪問」を引き続き実施
- ☆集積所までのごみ出しが困難な高齢者のための「あったか訪問収集」の訪問回数を拡充

3 健康で安心して暮らせる保健・医療・福祉サービスを推進します

- ☆糖尿病は、早期の発見・対応が重要であり、医療費増加の要因のひとつとなっているため、新たに若い世代を対象に血糖値およびヘモグロビンA1c検査などを実施する「糖尿病ゼロ作戦」を積極的に展開
- ☆利便性向上のため、国民健康保険被保険者証を世帯単位から個人単位にカード化
- ☆受診機会の拡大と受診率の向上を図るため、前立腺がん検診に個別検診を導入
- ☆健康増進や地域医療への関心を高めるため、「保健センターだより」の発行回数を拡充



4 産業の振興・中心市街地の活性化を推進します

- ☆原発事故により再生可能エネルギーの需要が高まるため、その導入の可能性や関連産業の集積等について調査・検討
- ☆既存企業の底上げを図るため、産業支援センターにおいて、企業訪問による取引あっせんや労務管理などの相談業務に加え、起業を志す方への支援を実施
- ☆実践的技術者の育成を図るため、人材育成センターにおいて、各種講習会を開催
- ☆持続可能で競争力の高い農業を構築するため、「がんばる集落営農団体育成支援事業」により集落営農組織化

- のサポートやリーダー研修会等を実施
- ☆効率的な農業経営を推進するため、「しらかわ型農地利用集積推進事業」により、地域の担い手や農地集積に協力的な貸し手側を支援
- ☆「新規就農総合支援事業」により、就農意欲の喚起と定着、経営安定を図り、青年の新規就農を積極的に推進
- ☆白河提灯まつり来場者に、その荘厳さと迫力を伝えるため、大型スクリーンでの中継を実施

- ☆「笑い」が免疫力のアップにつながることから、余震や原発事故のストレスによる免疫力の低下対策として「笑って健康いきいき事業」を実施
- ☆被災した市営住宅（関川窪2・3号棟および松風の里6号棟）の解体と再整備
- ☆道路・下水道・農業集落排水等の復旧工事を引き続き実施
- ☆市内商店街復興の起爆剤とするため、商工会議所・各商工会が発行するプレミアム付き「地域振興共通商品券」に対し10%を助成
- ☆復興支援の買い物ツアーを誘客するため、本市にゆかりのある友好都市等の市民に対し、市内観光施設・小売店で使用できる「買い物助成券」を発行
- ☆マスコミなど様々な情報媒体を通し、本市の魅力と安全性を発信
- ☆首都圏を往来する車両を用いたラッピング広告による本市PRを実施

東日本大震災から1年が過ぎました。震災直後から、災害復旧および放射能対策を最優先に対応してきた結果、被害のあった公共施設については、一部を除き、ほぼ復旧の見通しがつきました。放射能問題については、除染や風評被害対策など、引き続き全力をあげて取り組んでいきます。

また、本年を「復興元年」と位置づけ、「震災復興計画」に基づく事業を着実に進めるとともに、経済の安定なくして地域の安定はないことから、これまで進めてきた産業の振興や雇用の確保に努め、福祉の向上や社会基盤の整備など市民生活の安心と安定に寄与する施策を実施してまいります。

これまで同様、現地に足を運び市民の皆様の声に耳を傾け、きめ細かな目配りをしながら、的確な施策を展開し、白河から「再生」の光を発信してまいります。

今月号では、施政方針の中から、主な事業等について紹介します。

白河から

★特集 平成24年度施政方針



「再生」の光を



LIGHT FROM SHIRAKAWA FOR RECONSTRUCTION

◆このページでは、行政改革および組織機構改革のポイントをお知らせします！

市民サービスの向上や
市民協働によるまちづくりを進めます

行政改革

組織機構改革

3

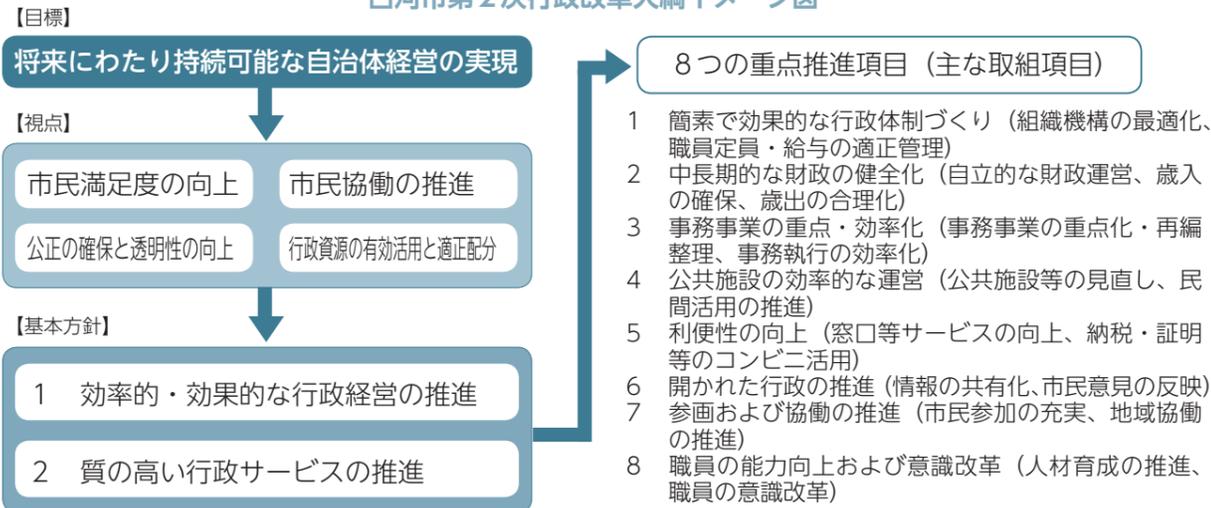
4

5

市では、これまで事務事業の見直しや職員数の削減など、主に経費の節減に取り組んできました。今後はこれに加え、市民サービスの向上や市民協働によるまちづくりなどをさらに推進するため、第2次行政改革大綱を策

定しました。
この大綱では、次の8つの重点推進項目を定め、平成24年度から平成26年度までの3年間、計画的に行政改革を推進します。

白河市第2次行政改革大綱イメージ図



市民の視点に立ち、
簡素で効率的・機能的な組織を！

行政改革

組織機構改革

3

4

5

市民の視点に立ち、簡素で効率的・機能的な組織を構築するため、組織機構を見直しました。機構改革の要点をお知らせします。

◎放射線対策室

放射線量低減対策を強化するとともに、災害関係窓口と連携して効率的・効果的に業務を推進するため、放射線対策室を市長公室から市民生活部へ移管します。また、損害賠償関係業務等を担当する「総務班」と除染関係業務を担当する「除染業務班」の2班体制とし、配置人数を増員します。

◎企業立地室

企業立地課を企業立地室とし、これまでの「企業立地班」に加え、再生可能エネルギーの導入などの調査・検討する「エネルギー班」を新設し、配置人員を増員します。

◎都市政策室

歴史と文化を活かしたまちづくりを一層推進するため、都市計画課、まちづくり推進課および文化財課を建設部都市政策室に一元化します。

◆問い合わせ先 本庁舎総務課 ☎1111 内2316

教育・生涯学習環境の充実を図ります

- ☆本市の歴史について知識を深め、郷土愛を育むため、小学生を対象に史跡見学などを行う「白河の歴史再発見！事業」を実施
- ☆中央中改築の実施設計に着手
- ☆表郷幼稚園の改築工事に着手
- ☆釜子小改築に向けた基本設計に着手
- ☆少子化や放射能の影響による園児数の減少などを踏まえ、各私立幼稚園への支援を拡充
- ☆白二小校舎本体のⅡ期工事およびプールの整備に着手
- ☆利用者数が見込みを大幅に上回っている図書館については、その多様化するニーズに応えるため、引き続き蔵書を充実
- ☆安全で快適なスポーツ環境の整備を図るため、中央体育館・市民プール・国体記念体育館の改修を実施
- ☆大震災で被災した小峰城の石垣について、修復工事の基礎資料とするための本丸南面・月見櫓背面の発掘調査、本丸北側・西側および竹之丸等の崩落石材の撤去などを実施

市民生活の安全の確保と地域コミュニティの強化を図ります

- ☆さらなる地域コミュニティ強化のため、「地域の底力再生事業」を拡充
- ☆地域コミュニティ、地域防災の拠点である「集会所」の積極的な整備
- ☆大震災を教訓とし、災害に強いまちづくりを目指すため、「防災計画」の全面的見直し
- ☆消防力を強化するため、消防団の装備品の充実と消防屯所の改築を推進
- ☆町内会単位の自主防災組織の結成促進と育成
- ☆住民の自発的な地域づくり活動を幅広く支援する「地域づくり活性化支援事業」を引き続き実施
- ☆地域における自主的な農業用施設整備に対して行っている資材の現物支給や機械賃借の助成（結い事業）を拡充
- ☆これからの本市を市民と共に創るための基本的なルールとなる「白河市自治基本条例」の策定を推進
- ☆再生エネルギーの導入促進を図るため、引き続き住宅用太陽光発電システムの設定に対する助成を実施
- ☆日本で唯一表郷金山地区に自生している「ビャッコイ」の保全計画を策定

社会基盤の充実を図ります

- ☆国道4号の四車線化および同294号の拡幅改良を要望（白河バイパスの整備促進とともに、白坂泉岡地内および大信町屋地内の拡幅）
- ☆市町村合併支援道路整備事業の早期促進を要望（国道294号大信増見地内、主要地方道白河石川線東蕪内地内および県道釜ノ子金山線東形見地内の道路改良など）
- ☆表郷地内の杜川の堆砂除去や東地内の矢武川の河川改修など早急な整備促進を要望
- ☆産業振興拠点である「工業の森・新白河（B工区）」の道路環境整備に着手
- ☆市道の整備（白坂駅十文字線、金勝寺大谷地線、大信147号線など）
- ☆昭和の時代に造られた舗装や側溝等に見られる経年劣化による破損を改修・更新するための「安全・安心で身近な施設整備事業」を5か年計画により実施
- ☆都市計画道路の整備推進（西郷羽目線・教会坂通り・

- 白河駅白坂線）
- ☆修景事業に対する助成など市民主体の景観形成活動を推進
- ☆「歴史的風致維持向上計画」に基づき、「旧脇本陣柳屋旅館建造物群」について保存・管理・活用方法などを検討
- ☆公共下水道事業として都市環境センターの長寿命化や南湖幹線、勝多石幹線、白坂双石幹線の管路工事などを実施
- ☆農業集落排水事業として、引き続き白河北部地区と泉岡地区の整備を推進
- ☆利用者の増加と利便性を図るため、市内循環バス（こみねっと）の運行範囲の拡大に加え、現在のルートの中循環・南循環の二系統に分割
- ☆地上デジタル放送の難視地区を解消するため、共聴施設整備などへ助成

市民から信頼される行政運営を推進します

- ☆全国のコンビニで住民票の写し、印鑑証明書等を取得できる「証明書コンビニ交付事業」を実施（7月から行い、当面はセブン-イレブンで実施）
- ☆「財政計画」に基づく、計画的な財政運営
- ☆歴史と文化を活かしたまちづくりを一体的かつ機動的に実施するため、建設部内に「都市政策室」を新設

- ☆「広報白河」の充実
- ☆市政懇談会や事業説明会の開催による丁寧な説明
- ☆急激な情勢変化や大震災からの復興などへ対応するため、中長期的な視点に立ったまちづくりのビジョンとしての「第二次総合計画」を策定

◆問い合わせ先 本庁舎企画政策課 ☎1111 内2323